

仲間を大切に

御領小学校（五和町）

6年 外平 優

わたしたち、御領小学校ミニバスケットボール部は、3～6年生までで、10人と少ない人数です。来年度からは、鬼池小学校と統合になるため、今年からバスケットボール部は、いち早く合同チームで1年間がんばる事になりました。

目標は、「仲間を大切にする」「大きな声を出す」「進んで行動する」です。去年は郡大会で優勝できたので、今年も先輩たちに負けないように、一生懸命に練習をしていこうと思います。

早く鬼池小学校の人たちと仲良くなり、みんなで心をひとつにして、県大会に出場できるようにがんばります。



心をひとつにがんばるぞ！

ぼくのわたしの学校部活自慢



笑顔がいっぱい！こころはひとつ！

一輪車パワーで元気100倍南っ子

下田南小学校（天草町）

6年 石松 千紗

わたしたち、下田南小学校は、全校児童10人で一輪車の練習をしています。

練習メニューは、スラロームやスプリント、一輪車検定の技の練習や、全員でするクロスや大風車などです。一輪車検定というのは、10級から1級までのそれぞれに決まった技ができるかという検定です。南小には5級の技ができる人もいます。

夏休みからは、運動会でひろうする一輪車アトラクションの練習も始めます。去年の演技はすべて成功し、会場から大拍手がおこり、感動して泣いている人もいました。

これからも、10人で力をあわせてがんばっていきたいです。

宝島の健康

よさげ屋

井上 米男 さん
(有明町上津浦・80歳)



◆毎日の楽しみは？

週3回のグラウンドゴルフの練習と、最近では田んぼの水回りを確認しながら散歩するのが楽しみです。稲が、一日一日力強く生長していくのを見ると、ほっとしますね。

◆健康の秘けつは？

若いころから体を動かすことが好きだったせいか、この年になってもグラウンドゴルフや農作業で汗を流しています。健康の秘けつは、何と言っても体を動かすことと、食生活にあると思っています。



吉鶴 真衣 さん（倉岳町宮田・21歳）

高校を卒業して3年。今は、飲食店で接客の仕事がんばっています。地元が好きで、球技大会や体育祭などの行事には進んで参加しています。あと、動物も好きですね。家で猫を飼っていますが、最近ではかわいい子猫がたくさん産まれたので、毎日がにぎやかです。

しいのみあそびのワンダーランド

椎の実保育園（楠浦町）

椎の実保育園（濱昌直園長・全園児79人）は、「私は私、でも私は皆の中の私」を実現できる“生きる力”と、思いやりの心を育くんでいます。また、独自の大型遊具や原始わんぱく村などで泥んこになり、ケンカもしながら力強いいきいきと生活しています。先の東日本大震災は、大自然の水の恐ろしさを痛烈に教えました。水の惑星地球、海洋国日本、水は命そのものです。三つ子の魂のころから水に親しみ、慣れておく事がきわめて大事なことを思い知りました。

危険もありますが、水は最高の遊具です。日ごろから、池や水路で生き物を飼い、滝や水のスライダーでダイナミックに遊び、かせなどに強い体づくりをしています。



水のスライダーを楽しむ園児たち



食べ物の大切さを知るために

一町田保育所（河浦町）

一町田保育所（倉田清美所長・全園児28人）は、春には一町田川沿いの桜並木やツツジ、菜の花の三重奏を楽しむことができるほか、少し足を伸ばした所には一町田を一望できる河内浦城跡があるなど、豊かな自然の中にあります。園では、食育活動の一環として、年長児を中心に今年は畑を作って夏野菜の栽培に取り組んでいます。今はオクラの種をまき、子どもたちは早く芽が出てこないかと待ちわびています。とれた夏野菜は、即調理して食べる「収穫クッキング」も計画中です。

このような取り組みを通して、食べ物の命をいただき、自分たちが大きくなっているということを伝えていきたいと思っています。

地域づくりコーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

新和にしかない地域資源を

最大限にいかして

新和まちづくり協議会（会長 平田 豊）

大宮地区へ入ったすぐ左手に、市の花に指定されている「ハマボウ」の群生地があります。この群生地は日本最大級を誇り、毎年7月から8月にかけてあざやかな黄色い花を咲かせます。新和へ訪れたときには、ぜひご覧いただければと思います。

新和まちづくり協議会では、この貴重な地域資源であるハマボウを活用したまちづくりを推進するため、これまで小宮地・大宮地の両地区振興会とともに草刈り作業などを実施し、昨年は観察会も開催しました。このような中、今年度からは協議会内にハマボウ推進班を設置し、活性化に向けた取り組みをさらに進めることにしています。

また、楊貴妃伝説にちなん



▲昨年行われたハマボウ観察会のようす

で開催している「しんわ楊貴妃祭り」は、今年で15回目を迎え毎回町内外から多数来場いただいています。これについても、楊貴妃活用推進班を新たに設け、イベント内容の見直しのほか、特産品開発なども企画していきたいと考えています。

これからも、新和にしかない地域資源を最大限にいかしたいと思っています。